

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 30 年 11 月 7 日（水）

10 時 00 分～11 時 16 分

全員協議会室

（委 員）野藤委員長、小川副委員長

沖田委員、西川委員、永見委員、佐々木委員、道下委員、西田委員

（議 長・委員外議員）上野議員、笹田議員、布施議員、澁谷議員、牛尾議員

（総務文教委員会 所管管理職）

〔総 務 部〕 砂川総務部長、山根総務課長、馬場安全安心推進課長

〔地域政策部〕 岡田地域政策部長、邊まちづくり推進課長

〔財務部〕 宮崎財務部長、土谷資産税課長

〔金城支所〕 吉永支所長

〔旭 支 所〕 塚田支所長

〔弥栄支所〕 河上支所長

〔三隅支所〕 斎藤支所長

〔教育委員会〕 石本教育長、佐々木教育部長、外浦文化振興課長

〔消防本部〕 ~~佐々木消防長~~

（事務局） 篠原書記 （報道） 中国新聞、山陰中央新報

議 題

1 執行部報告事項

(1) 浜田警察署殿町職員宿舍の取得について

(2) 「平成 30 年度市民憲章推進大会」及び「しまね映画塾 2018in 浜田作品
発表上映会」の開催について

(3) 敬老福祉乗車券制度（案）について

(4) 井野地区公共交通空白地有償運送の車庫整備について

(5) 基準地価調査の結果等について

(6) 平成 30 年度 浜田開府 400 年記念プレ講演・座談会（第 4 弾）につい
て

(7) その他

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 10 時 00 分)

野藤委員長

ただいまから総務文教調査会を開催する。本日、消防長は欠席と聞いている。

10月1日に機構改革が行われ、財務部に契約管理課が創設されたのでご挨拶いただく。契約管理課長。

《 契約管理課長より挨拶 》

議題1に入る前に財務部長から発言の申し出があったのでこれを許可する。

財務部長

昨日、議会事務局を通じて議員の皆さまにお知らせしており、DV等支援措置対象者の個人情報流出する事案が発生した。このようなことは地方公務員としてあってはならず、厳粛に受けとめている。被害者の方をはじめ関係者の皆さまに多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫びすると共に、市政に対する信頼を著しく損ねた点も重ねてお詫び申し上げます。

野藤委員長

委員にお伝えする。このことは個人情報に関わる案件のため、質疑は控えていただくようお願いする。

早速議題1に入る。

1. 執行部報告事項

(1) 浜田警察署殿町職員宿舎の取得について

野藤委員長

順次報告を願う。安全安心推進課長。

安全安心推進課長

本件は12月議会に議案として出す予定で、事前審議となる可能性もあるため報告に留めたい。ご了解願う。

(以下、(1)の資料をもとに説明)

野藤委員長

先ほど課長が申されたように、本件は12月議会に議案として提出とのことなので、質疑は事前審査にならない範囲でお願いしたい。どうしても質問したいことがあれば。道下委員。

道下委員

松原からくる一方通行の通りに向けて通路を作るという認識があるのだが、それも踏まえてか。それともそれは39年以降になるか。

安全安心推進課長

今一方通行になっているハローワークや旧中山産婦人科から

の通路だが、これは今回別の話と認識している。今回の取得には含まない。

野藤委員長 他に。

(「なし」という声あり)

野藤委員長 ではこの件については終了する。

(2) 「平成 30 年度市民憲章推進大会」及び「しまね映画塾 2018in 浜田作品発表上映会」の開催について

(3) 敬老福祉乗車券制度 (案) について

(4) 井野地区公共交通空白地有償運送の車庫整備について

野藤委員長 この 3 件について、まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 (以下、(2) から(4)の資料をもとに説明)

野藤委員長 説明が終わった。1 件ずつ質疑を受けたい。

(2)について委員から質疑はあるか。西川委員。

西川委員 市民憲章表彰者の選考方法を簡単にお教え願う。

まちづくり推進課長 市民憲章推進協議会という組織があり、そこから推薦いただいた被表彰者の方々の功績調書等を確認させていただき、理事会、総会を経て決定する流れとなっている。

西川委員 推薦される団体はどのような所から推薦されるのか。

まちづくり推進課長 市民憲章推進協議会の会員から。例えば各自治区の自治協議会会長、商工会議所、商工会、社会福祉協議会、校長会、PTA 連合会、高齢者クラブ、体育協会、ロータリークラブ、ライオンズクラブといった、市内の主要団体約 40 名の会員構成になっている。

野藤委員長 他にあるか。道下委員。

道下委員 個人と団体などそれぞれで該当者の括りは全く無いのか。その年に挙がった方を全部拾い上げるのか。そうではなく、ある程度の括りがあると思うがいかがか。

まちづくり推進課長 基本的に枠の制限は設けていない。推薦があった方を出来るだけ広く憲章してあげたい。年によっては被表彰者の人数に増減があるが、基本は構成団体からの推薦なので極端な増減はない。だいたい 10 から 20 の個人・団体くらいだと記憶している。

野藤委員長 その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長	ではこの件については終了する。(3)について委員から質疑は。西川委員。
西川委員	高齢者と障がい者への支援を合わせる目的だと思う。一般財源だったものからふるさと応援基金への振替えが目的なのか、それとも業務コスト削減が目的なのか。
まちづくり推進課長	敬老乗車券制度見直しについてはこれまでも議会等で答弁してきたように、福祉の視点を持った外出支援策として再構築したいと考えていた。現在の高齢者分と、障がい者、その他福祉視点での施策を検討したが、結果的に高齢者と障がい者の2区分の統合になった。
西川委員	財源はふるさと応援基金を活用する方向で整理した。最初からこれを使うつもりだったわけではなく、検討の結果。共通チケットを使用するために共通財源にするよう整備した。
西川委員 財務部長	障害者の財源を変えるので、継続事業には当たらないのか。
西川委員	完全な意味での継続事業ではないと考えている。新たな制度構築と理解させていただき、ふるさと応援基金をあてることにした。
西川委員	理解した。もう1点浜田駅から8kmを超える人に対して2冊支給だったのが5冊になった。距離に応じてではなく一律に増やしたことについて議論があったか。
まちづくり推進課長	2冊上乗せは今年度から実施している。旧那賀郡の方を中心に、増えて良かった、更に増やしていただきたいという声がある。距離に応じてより加算して欲しいという強い要望についてはまだ検証の中で伺っていないので、今回の見直しでは、8kmを超える人への一律上乗せとした。
西川委員	検証なしで上乗せすることは問題では。今後検討を重ねるのか。
まちづくり推進課長	半年間経過した時点での実績は把握している。販売時における利用者さんからの声を聞いて、制度構築・見直しには活かしたが、1年を通じた利用実態などの詳細な検証までは出来てないという意味で答弁させていただいた。
野藤委員長	その他。佐々木委員。
佐々木委員	期間は来年度からいつまでの予定か。
まちづくり推進課長	見直し後、当面3年間の予定にしている。
佐々木委員	3冊プラスの明確な積算根拠を詰めていないという話だった。もっと増やして欲しいという強い声はたくさん聞いている。中山間地域の問題の大きな1つが「足の確保」なので、この取り組みの意義は非常に大きい。公共交通の計画との整合性もあろうが、足の確保に繋がり成果が出るような取り組みにして欲しい。考え方を聞きたい。
まちづくり推進課長	5冊に増やしたが、何冊が良かったのかは難しい問題。今回は5冊にしているが、今後の利用実態、利用者の声を詳細に把握し、特に中山間地域の交通対策として5冊で少ないのであれば、年度

佐々木委員	<p>途中での見直しもあり得ると考えている。</p> <p>他の色んな支援も考えられるが、これが大好評で定着しつつあるようなので、私も利用者の声をしっかり聞いていくつもり。機会があるごとに調整し、この事業のあるべき姿を追求していただきたい。</p>
まちづくり推進課長	<p>現在、公共交通計画の策定をしている。敬老乗車券も含めて高齢者の中山間地移動支援対策を盛り込んでいく。この計画は6年計画で策定作業に入っているが、中・長期的な所も視野に入れて整備していきたい。</p>
野藤委員長 道下委員	<p>その他。道下委員。</p> <p>平成30年度の予算額が示してあるが、今はどのくらい敬老乗車券の販売、執行率になっているのか。</p>
まちづくり推進課長	<p>販売額でよろしいか。半年経過した時点で市内70歳以上の対象者が約1万5000人、うち購入者が2600人、約17%程度。昨年度実績は20%超の購入率だった。1人あたりの購入冊数は現時点で6.5冊。</p>
道下委員 まちづくり推進課長	<p>今の予算額8100万円のうちのどのくらいになるのか。</p> <p>先ほどは販売の冊数だったが、8100万円は実際に利用されるであろう見込み金額で、直近でおよそ4000万円程度の金額。</p>
道下委員	<p>現在4000万円辺りが、3月末までに8100万円となるとあと半年だが、予算を立てて来年度は上乘せの8500万円の予定を立てようとしているが、今年度は完売、8100万円の予算が完結する見込みなのか。</p>
まちづくり推進課長	<p>30年度の8100万円については、多少の差は出るだろうが、概ね8000万円程度利用があるものと見込んでいる。来年度の8600万円程度の見込みは、これまでの使用状況実績プラス3冊分を上乘せした分を増やしている。</p>
野藤委員長 西田委員	<p>その他。西田委員。</p> <p>新制度は障害者支援については一般財源からふるさと応援基金で対応することだが、いずれはそういった事業費もなくなる。今のうちに出来るだけ一般基金を使わないようにしながら、応援基金を使って当面3年を計画している。しかし今後課題が山積し、地域によって様々な課題の発生するだろう。</p> <p>今から6年ほどを目途に新たな交通システムを構築していこうとしているのか。</p>
まちづくり推進課長	<p>新しい公共交通計画の策定については計画から6年間。西田委員がおっしゃるようなこういった事業は財源も含めた所で計画を立てていく必要があると思っている。今はまだ基礎調査・データ調査・アンケート調査中で、具体的な方針をお示しする段階に無い。次回の委員会・調査会にて内容のお話ができればと思っている。考え方は西田委員が仰ったとおりだ。</p>

財務部長 ふるさと応援基金については言われた内容がほぼ凶星。ふるさと応援基金は恒久財源ではないため、あるうちになるべく早く使いたいのので、基金を優先する。ただし、今後も必要な事業となれば恒久財源を用意しないとイケない。いずれ選択を迫られると思う。今の内は恩恵のあるふるさと基金で市民に還元したいと考えているのでこれでやっていきたい。

西田委員 是非、全国に先駆けるような浜田方式の新公共交通システムを、我々も考えるし、執行部も考えてもらいたい。

野藤委員長 他に。

（ 「なし」という声あり ）

野藤委員長 (4)について委員から質疑は。西川委員。

西川委員 早急に必要なのか。井野地区の事例を見て他の地区からも参考にしたいという声が、先日の井戸端会でも出た。島根県の補助金ありきの事業なのか。他地区の要望にも行うことは検討されているのか。現在あるのか。

まちづくり推進課長 元々、事業立ち上げの際から島根県にも全面的に関わってもらっている。県の有利な補助を使って制度導入をしたらどうかというご提案もあって始めたものでもある。車両購入と車庫整備とを合わせた一体的な整備で、2年間限定で補助できる制度なので、今年度するということだ。

野藤委員長 他地区でもという話だが、自治会輸送をやっているのが大麻地区と羽原地区で、無償運送なので井野とは形態が違うが、市から車両を無償貸与して自治会で輸送されている。車庫は地域で所有しているものを有効活用して車両管理してもらっている。井野は大麻とは積雪等の条件も違うので、必要性が高い。補助の活用が出来ることも大きい。

野藤委員長 現在、他から声はないのか。

まちづくり推進課長 自治会輸送そのものを新たに始める所がないのかという話については、具体的に市への相談や実施準備を進めているという所は伺っていない。

野藤委員長 その他。佐々木委員。

佐々木委員 運営団体からの要望だったとのこと。羽原地域はこことここまですぐ状況が変わると思われぬ。ここがこういう対応をしてもらえると「ではうちも」となりかねない気がしたが、そういう話が出なかったのか。

まちづくり推進課長	羽原地区から具体的な要望は出ていない。今ある車庫の積雪対策は現状では出来ていると聞いている。井野地区の状況を聞いて「次はうちも」という声が出るかと思うが、県の補助金の都合もあるし地域と協議したい。
野藤委員長	その他。 (「なし」という声あり)
野藤委員長	ではこの件については終了する。

(5) 基準地価調査の結果等について

野藤委員長	この件について、資産税課長。
資産税課長	(以下、(5) の資料をもとに説明)
野藤委員長	この件について委員から質疑は。道下委員。
道下委員	裏面の住宅地の固定資産税評価。周布町周辺-1.6%とのことで非常に気に入くない。熱田町で 0.0%、相生町で 0.0%、長沢町で-0.6%、端的に、何が原因か。
資産税課長	詳細は即答できないが、地価を決定するのに不動産鑑定士が鑑定する要素は多岐にわたる。駅に近いか、コンビニに近いか、病院に近いか等。周布公民館付近はこれらに該当するので、他の要素があると思われる。土地売買が進むと価格は上がっていくが、そういうものが無いと落ちたり横ばいになる傾向はある。鑑定要素の細かい内容は今ここで即答出来ない。
野藤委員長	窓口へ直接聞きに行つて欲しい。他に。 (「なし」という声あり)
野藤委員長	ではこの件については終了する。

(6) 平成 30 年度 浜田開府 400 年記念プレ講演・座談会 (第 4 弾) について

野藤委員長	この件について、文化振興課長。
文化振興課長	(以下、(6) の資料をもとに説明)
野藤委員長	この件について委員から質疑は。沖田委員。
沖田委員	17 日のプレ公演は非常に良い企画だが、浜田青年会議所が企画する別の講演と被っている。日程をずらすと良いのでは。
文化振興課長	今回はたまたま別講演と重なった。なかなか調整するわけにいかなかった。今後はこのように重ならないよう考慮したい。
野藤委員長	その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

時間調整で委員の皆さんは参加をよろしく願います。ではこの件については終了する。

(7) その他

野藤委員長

その他、執行部からあれば。生涯学習課長。

生涯学習課長

口頭でのご報告をお許し願う。浜田公民館拡張に伴う改修工事の供用開始のご報告。本年8月6日の総務文教調査会においてご報告した後、工事は計画通り進んでいる。来る12月1日から供用開始の予定で準備を進めている。

野藤委員長

口頭説明だったが委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

その他執行部から。

(「ありません」という声あり)

その他、委員から。小川副委員長。

小川副委員長

冒頭に財務部長から報告があった件だが、個人情報に関わることだから委員長から質疑は控えてほしい旨あったが、すでに新聞紙面に載っているし、市民もいくらか関心を持っておられるのに、議員の中で全く質問が出なかったのはどうかと。重要な個人情報を正規の職員でない方が扱っており、7月に退職されたのもこの一件が原因なのかも分かりにくい。問題が発覚したきっかけも分かりにくい。説明がいただけないのか。

税務課長

正規職員でない者というご指摘だが、欠員補充の嘱託職員なので正規職員と同じ業務をしてもらっている。退職についても、非正規なので退職金はないし、責任を取って辞めろと促したこともない。本人がこれ以上業務を続けられないとのことだった。

発覚に関してだが、本人の住所を答えてしまった後、続いて転居時期の質問を受け、住民情報システムに切り替えた際に警告が出ておかしいと気づいた。総合窓口課とやりとりする中で、それが確信に変わったとのこと。

小川委員

発覚したのが6月で、今日公式発表された。これだけ時間がかかったのは何故か。何か事情があったのか。

財務部長

個人情報絡むのだが、まず発覚した時に何を優先するかとい

う問題があった。被害者の身の安全を最優先したので、直後に発表するのを控え、身の安全が確保されたことを確認してからの発表になった。まだ補償の問題が決着していないので、まだ完全に落ち着いておられない。これ以上は個人情報なので発言を控える。まだ完全ではないが時間も経過したので、ご本人に報道発表前の了解を得て、公開に至った。

小川委員

システムの関係で、最初は住所を言ったが、次に時期を聞かれた時に警告が出たと。それはすぐ改修されたとのことだが、システムの問題点というか、最初から警告表示が出ていればその時点で気が付いていたかもしれない。疑問に思ったのだが。

財務部長

その点は昨日のマスコミ対応でも議論が出た。確かに税情報では警告は出なかった。浜田市民でこういう措置をされた方については運用で全システムで出るようになってきているが、この方は他所で措置を受けた方だったので出なかった。

そもそも、電話の相手が誰か分からないのに個人情報を答えてしまったことが問題だと判断している。庁内で話し合い、何らかの個人情報が出るものは連携しようという対策を取った。

野藤委員長

この件については以上とさせていただきます。

ここで執行部からの報告事項6件について、全員協議会へ提出すべきもの、資料配布のみとするもの、提出不要のものの決定をしたい。

執行部側の意向を伺いたい。総務課長。

総務課長

報告させていただきます。

- (1) 資料配布のみ
- (2) 資料配布なし
- (3) 資料配布のみ
- (4) 〃
- (5) 〃
- (6) 資料配布なし

野藤委員長

以上執行部側の意向を聞いた。委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

なしとさせていただきます。

先ほど、その他の項目で佐々木委員が挙手されていたのを見落としてしまっていた。佐々木委員。

佐々木委員

昨日たまたまある学校の視察で伺わせてもらったが、すごかった。学校図書館活用教育の趣旨で行った小規模校だが、人間を作っていく仕組み、趣旨が活かされていると感じた。

教育部長

統合計画の答申が出される時期だと思うが、どういう状況か。学校統合審議会で審議を重ねてもらっている。年度内に答申を受けて、来年度以降の統合計画を策定する。具体的中身は申し上げられないが、旧浜田市内の学校について概ね最終的な審議にいたっている。答申が出たらご報告するつもりだが、何月頃になるかスケジュールが確定していない。一応年度内の方向で考えている。

佐々木委員

年度内にはきちんとしたものが示されるということか。

教育部長

具体的な校名を挙げての答申が出るものと思っている。

野藤委員長

西川委員。

西川委員

2022年4月に成人年齢が18歳になるとのことだが、成人式が受験時期に重なることが全国的に議論になっている。浜田市の2023年成人式の方針があれば聞きたい。

教育部長

今の段階はまだ検討していない。

西川委員

ふるさと体験村の件で、当委員会でも産業建設委員会でも報告の予定がない。どのように進捗しているか、ここで聞いて良いか。

地域政策部長

前の全員協議会でもお応えしたように、行政の本庁内に検討会議を設けて議論を進めている。これまでに2回正式会議をした。現在ふるさと体験村が置かれている状況や収支など機能別に整理していこうということで議論を進めている。検討経過は外部にお出し出来るほどまとまっていない。ある程度示せる段階になればどこかのタイミングで報告させていただく。

西川委員

スピード感、進捗の報告がなくて心配しているので、適宜報告をお願いします。

先日、弥栄の地域協議会に出たが、ふるさと体験村のことが誰からも一言も出なかった。住民組織の検討が地域協議会に上がって本庁部局との調整になるとお聞きしているが、まだ情報がないのか。

地域政策部長

地元でも地域協議会の中のメンバーを中心にした有志の検討会が開催されているのは承知している。立ち上げの時に、どうい

野藤委員長

う状況で進められるのか、本庁からも支所からも職員が出向いて
いって様子も聞いた。任意の会から地域協議会に上げられて議論
されることになるが、並行して本庁内部でも検討を始めており、
12月中には大体の方向性を出すスケジュールで動いている。中間
報告を12月議会に出せると考えている。

その他ないか。

(「なし」という声あり)

では全員協議会には先ほど提案のあった形で決定させていただく。
執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

野藤委員長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

以上で総務文教調査会を終了とする。

(閉 議 11時16分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 野藤 薫 ⑩